

# 一般質問

## 質問者

山之内 渡辺 辻 工 河原 岡 園 伏 周 人 関 田 北 佐 飯 久保	之内 辺 藤 原 部 田 木 東 見 口 島 川 藤 島 久保	恒 正 英 人 始 純 基 康 照 武 直 忠 久 幸 英 裕	(公明クラブ) (日本共産党議員団) (いちえ) (創志会) (クラブ21) (桐政会) (創志会) (市民の風) (公明クラブ) (創志会) (日本共産党議員団) (いちえ) (創志会) (創志会) (市民の風) (市民の風)
--------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---

※氏名の後のカッコ内は所属党派名

9月15日(木)・16日(金)の2日間にわたり、16人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。



### 商工業の継業支援

辻 正男 (いちえ)

質問 「継業」とは意欲のある第三者に事業を継ぐことか。

(桐生市役所)

でもらう取り組みであり、市勢活性化の手法として有効と思われるが、市としてはどのような継業支援が行なわれているのか。

答弁 群馬県の外郭機関である公益財団法人群馬県産業支援機構が、国から委託を受け、「後継者バンク」という登録制度を通じて、後継者のいない企業と第三者とのマッチングの仕組みづくりなどを行っており、市としては、同支援センターと連携を図りながら、市内事業主に対して、適切な支援を行っていききたい。

### 地域を越えた充実した市民サービスの提供

山之内 肇 (公明クラブ)

質問 テレビ電話機能を利用できるタブレット端末等の導入による市役所本庁と支所との双方向コミュニケーションの強化により、新里町、黒保根町住民が身近な支所でこれまで以上に充実した市民サービスが受けられるような仕組みを作らなければならないと思うが見解は。

答弁 本庁まで出向く時間と距離の問題解決について、非常に効果的であり、



市民の負担軽減、サービス向上につなげられるよう、現状の問題点やニーズを深く掘り下げ、関係各課とも協議するなど、検討してまいります。

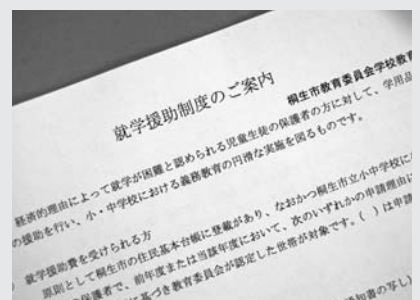
(桐生市役所)

### 就学援助について

渡辺 恒 (日本共産党議員団)

質問 就学援助の支給費目の中で、新入学用品費などは保護者が一度支払ってから支給されるが同援助費を受給する家庭において、事前の支出は経済的に非常に困難である。負担軽減のため事前に支給できないか。

答弁 新入学用品費は、入学前の保護者への支給方法や現行の認定会議の審議に間に合わない等の課題があるため、他市の状況などを調査し実施の可能性を研



(就学援助制度のご案内)

究していききたい。校外活動費と修学旅行費については、実施後でないで支給額が確定しないため事前支給は難しいものと考えている。

### サイエンスドクター事業

工藤 英人 (創志会)

質問 これからの桐生の将来を担う子どもたちの中から、理科や科学に興味と関心を持つ生徒を、さらに増やして、サイエンスのスペシャリストを発掘していただきたいと考える。サイエンスドクター事業を、より充実させ、拡大することについての市の見解は。



(サイエンスドクター事業)

使った実験活動の体験により、さらに知的好奇心を刺激させ、桐生の次代を担う優秀な人材の育成を目指していきたい。

答弁 群馬大学大学院理工学府と連携しながら最先端の科学技術の研究を見聞し、大学の専門的な機器を

## 教員の負担軽減

河原井 始(クラブ2)

**質問** 教員は授業以外の業務が一切無く、教えることだけに専念しているという外国の例もある中で、日本の教員の授業以外の負担を軽減するには。

**答弁** 教員の負担が減ることにより子どもと触れ合う時間が増え、また、教材研究も十分に行えるため、子どもの学力は総体的に向上すると捉えている。

その一助とするため、桐生市教育委員会では教育相

談員やスクールカウンセラーの配置、校務支援システムの導入など、教員の業務軽減の取り組みを行う中で負担軽減を図っている。

(授業の様子)



## 小友線新設道路計画

岡部 純朗(桐政会)

**質問** 両国橋に通じる小友線について進捗状況はどのようになっているか。



(両国橋に通じる境野町側市道)

のようになっているか。

**答弁** 平成27年度に境野町側の延長280メートル区間において現況平面測量を実施し、その測量成果に基づき道路線形等を検討する中で、現在、地元地権者との調整を行っているところだが、今後も協力が得られるよう交渉を継続していきたい。

**質問** 今後の菱町側の工事計画は。

**答弁** 菱町側については、境野町側の整備進捗に合わせ、順次事業化に向けて取り組んでいきたい。

## 図書館向けデジタル化資料送信サービス

周東 照二(公明クラブ)

**質問** 国立国会図書館の貴重な資料を閲覧・複写できる資料送信サービスは、社会人や学生、また群馬大学などの大学生の利用も見込めると考えるが、導入に向けての市の見解は。

**答弁** 国立国会図書館の承認を受けた公共図書館や大学図書館等の館内での利用が可能となっている。国立国会図書館側が指定するセキュリティ対策やシス



(桐生市立図書館)

テム構成を満たす必要があり、導入については、調査・研究し、また文化的資産の活用という観点からも、今後も引き続き検討していきたい。

## 立地適正化計画

園田 基博(創志会)

**質問** 都市機能誘導区域や居住誘導区域を設定する(相生町五丁目団地)



中で既存の市営住宅をどう活用していくのか。

**答弁** 地方都市におけるコンパクトシティの基本的な考え方は、主要なバス停周辺等の生活拠点にも誘導する多極ネットワーク型である。市街地から離れている市営住宅でも一定の人口密度が確保できれば生活拠点として公共交通の充実を図り、まちなかへのアクセスを良くするなどのケースが考えられるが、現在はデータ収集の段階であり誘導区域等の設定については、今後の検討課題である。

## 救急救命

人見 武男(創志会)

**質問** 心肺停止に陥った時、その場に居合わせた人による迅速な処置が重要であるが、救命率を高めるための取り組みは。

**答弁** 救命には迅速な心肺蘇生法の実施が重要であることから、救命講習会を事業所や自治会などを中心に開催している。平成27年は165回実施した。

**質問** 市内全中学生に対し毎年講習を行えば、いず

れは市民全体の受講率が上がるかと考えるが実施状況は。

**答弁** 平成27年度は10校で実施し、1061人が受講している。

(救命講習会)



## まちづくり住民投票

伏木 康雄(市民の風)

**質問** 政策の優先順位を決めるために、年1回、ま



ちづくり住民投票を実施する必要があると思うが。

**答弁** 住民投票を一般的な制度として位置付けるか否かについては、地方分権推進委員会の第2次勧告において、「住民投票制度は、住民参加の機会拡大のために有効と考えられる一方で、現行の代表民主制との関係に十分留意する必要がある。国は、その制度化については、今後とも慎重に検討を進める必要がある。」とされており、運用については、議会制度との均衡から検討していく必要がある。

ちづくり住民投票を実施する必要があると思うが。



## 渡良瀬川の水質

関口直久(日本共産党議員団)

質問 足尾簗子橋堆積場において古河機械金属(株)はどのような安全対策と堤体監視を行っているか。

答弁 同堆積場の安全対策については、群馬県、太田市、桐生市の県内三者で毎年、同社に対し万全を期するよう要望している。同社は、堤体監視として、歪を感知する変位測定を行っているが、異常値は確認されていない。また、同堆積場内には、集中豪雨にも対



(簗子橋堆積場)

応できる排水塔が設置されている。今後も、安全対策の確認を行い、流域住民の安全・安心の確保に努めてまいりたい。

## 広沢老人憩の家

田島忠一(いちご)

質問 老人憩の家を含む長寿センター等の運営はど



(広沢老人憩の家)

のようになっているのか。

答弁 すべての長寿センター等は桐生市社会福祉協議会が運営し、運営方針等も基本的には同様である。

質問 広沢公民館を利用する団体から、公民館の利用者が多く、部屋を利用できない場合があるとの声があるが、広沢老人憩の家の部屋を団体に安く貸し出すことはできないか。

答弁 現在、施設利用料は、個人で支払っていたが、高齢者の団体の利用料については、今後、検討していきたい。

## 空き家・空き地対策

北川久人(創志会)

質問 空き家・空き地の現状把握をしているか。



(市内の空き家)

答弁 空き家の実態調査は、今年度、市内全域に存在する空き家の調査を進めている。空き地の調査は実施していないが、固定資産の納税通知時に利活用の情報提供等を行っている。

質問 所有者不明の空き地について、市民が困っているという声に対して、今後どのように対応するのか。

答弁 所有者の把握が困難な場合もあるが、困りの市民の声があることを踏まえて、国・県と関係機関の指導を仰ぎ、関係各課と連携して対応を研究したい。

## 特別支援学校の県立移管

佐藤幸雄(創志会)

質問 保護者からの要望に対する対応については、

(特別支援学校の送迎バス)



答弁 学校給食は市からの提供を予定している。文化発表会等への参加は継続する方向で協議中である。

P.T.A活動については桐生市の協議会に継続加入をお願いしたいと考えている。

質問 通学方法は。

答弁 スクールバスでの通学を今後も継続できるよう県に対し強く要望したい。スクールバスで対応できない新里、黒保根地区からの通学については、現在タクシーでの送迎が可能となっていることから、同様の対応がとれるよう要望したい。

## 本町四丁目鉢座

飯島英規(市民の風)

質問 桐生市の宝である本町四丁目鉢座の管理を市が引き受けるべき時期に来ているのではないか。

答弁 本施設は、観光振興の観点からも極めて重要なものであるが、国・県・市から多額の補助金を受け、民間団体が建設した施設を、市が引き受けることは極めて困難である。現在、今後の運営方法や支援体制等について、関係者による協議



(あーとほーる鉢座)

・検討が行われているところ。

## 上毛線LRT化可能性調査

久保田裕一(市民の風)

質問 上毛線LRT化可能性調査を行った経緯及び調査内容について伺いたい。

答弁 上毛線の利用者は年々減少傾向にあり、抜本的な再生策を検討する上でLRT化の可能性についても研究することとなった。

導入区間、運行本数及び運賃などを含めた導入パターンの設定、概算事業費の算出、需要予測及び採算性の見直しなどの調査を行っている。なお、LRT化の検



(西桐生駅)

討区間は、上毛線全線に加え、中央前橋駅からJR前橋駅までの区間及び西桐生駅からJR桐生駅までの区間が対象となる。